

2024 年度 業績集(年報)

東京大学大学院医学系研究科

健康科学・看護学専攻

地域看護学・公衆衛生看護学分野

目次

1.	はじめに	2
2.	研究業績	3
(1)	原著・報告	3
(2)	著書/報告書	4
(3)	シンポジウム・セミナー等	4
(4)	学会発表等	5
(5)	講演等	8
3	研究活動	9
(1)	地域看護・公衆衛生看護学教室勉強会	9
(2)	研究会	14
(3)	研究プロジェクト	15
4	教育活動	16
(1)	学部講義	16
1)	地域看護学 4年前期(2単位)	16
2)	在宅看護論 3年後期(2単位)	17
3)	看護学概論I—生きることを支える科学—	18
4)	看護学概論II—社会で活躍する看護プロフェッショナル—	18
5)	健康総合科学概論	18
6)	公共健康科学統合講義I	18
(2)	学部実習	19
(3)	大学院講義	20
1)	支援技術論I(保健師教育科目)	20
2)	支援技術論II(保健師教育科目)	22
3)	公衆衛生看護学I(保健師教育科目)	23
4)	公衆衛生看護学II(保健師教育科目)	24
5)	行政看護学(保健師教育科目)・行政看護学特論	25
6)	公衆衛生看護学 III(保健師教育科目)	26
7)	公衆衛生看護学 IV(保健師教育科目)	26
8)	公衆衛生看護学 V(保健師教育科目)※2024年度は履修者無しのため不開講	26
9)	公衆衛生看護学 VI(保健師教育科目)	26
(4)	大学院実習	28
1)	公衆衛生看護学実習I	28
2)	公衆衛生看護学実習II	28
(5)	大学院演習	28
1)	産業保健に関する演習	28
(6)	卒業論文	28
(7)	修士論文	28
(8)	博士論文	28
5	学内における活動	29
6	学会における活動	29
7	社会的活動	29
8	教室員名簿(2024年度)	30

1. はじめに

地域看護学・公衆衛生看護学教室の2024(令和6)年度年報をお届けいたします。弊室は、平成4年4月に初代教授金川克子先生により開設され、「地域看護学」という名称を大切にしていまいりました。先般の指定規則の改正に伴い、全国的に多くの大学・大学院が保健師教育を行っていることを明示するため、「公衆衛生看護学」を教室の名称に取り入れるようになりました。当室も伝統をまもりつつ、時代の流れを汲む観点から、多くの学内の先生方や事務職の皆様方にお力添えいただき、今年度「地域看護学・公衆衛生看護学分野」と改称いたしました。また、博士課程1名が修了を迎え、東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター博士研究員として着任することができました。これもひとえに医学系研究科や健康科学・看護学専攻の教授の先生方をはじめとする、多くの皆様からの温かいご支援・ご指導の賜物と存じます。日頃のご支援・ご指導に心より感謝申し上げます。

修士課程における保健師養成課程も、2024年度で開設から11年目を迎えました。社会の変化は著しく、私たちの生活も生成AIの登場により、大きな影響を受けています。こうした中で、住民や地域特性の強みを活かしつつ、直接あるいは間接的にニーズに即したケアを提供できる保健師の存在意義は、平時・災害時を問わず重要となっております。保健師のケアは、コミュニティに足を運び、人々との信頼関係を重視しており、地道な日々の活動が基盤です。一方、行政が伝統的に書類を重んじる文化だったことから、医療機関と比べるとデジタル化は遅れています。医療保険等で規定されている看護ケアのように、保健師のケアは数値化や評価が難しく、成果の可視化が困難になっていることも看過できません。私たちは、厚生労働省や地方自治体、各関係機関のご指導を仰ぎつつ、教育・研究・社会貢献を連動させる形で保健師のケアの意義や成果を可視化しつつ、その活動を強化に貢献できるよう努力を重ねているところです。

また、社会課題を解決できる保健師の育成にも力を入れております。昨年度から開始した「地域における乳児股関節見落としゼロ」プロジェクトでは、保護者の皆様をはじめ、保健師、助産師、小児整形外科医、行政関係者、企業など、多くの方々のご指導・ご協力をいただきながら、子どもの健やかな股関節の発育と歩行を支える「地域づくり」を推進中です。すでに複数の自治体でエコスクリーニングを開始し、発育性股関節形成不全の早期発見・早期治療につなげる成果をあげております。子どもの股関節を守ることは、二次性の変形性膝関節症患者数が推計1200万人とされるわが国において、生涯歩行機能と健康を維持する観点からも重要です。本取り組みは、ライフコースアプローチを予防の視点から推進するもので、健康増進・医療費削減に大きく貢献できる可能性を秘めております。

本年報をご高覧いただき、今後の活動へのご助言・ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。至らぬ点も多くございますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
地域看護学・公衆衛生看護学分野 准教授
吉岡京子

2. 研究業績

(1) 原著・報告

- Wu, J., Igarashi, A., Suzuki, H., Matsumoto, H., Kugai, H., Takaoka, M., & Yamamoto-Mitani, N. (2024). Effects of a dementia educational programme using virtual reality on nurses in an acute care hospital: A pre-post comparative study. *International journal of older people nursing*, 19(3), e12616. <https://doi.org/10.1111/opn.12616>
- Sari, D. W., Kugai, H., Igarashi, A., Takaoka, M., Matsumoto, H., Suzuki, H., Wu, J., Fitriyasaki, R., Nasifah, I. A., Has, E. M. M., & Yamamoto-Mitani, N. (2024). Education Program for Enhancing Health Care Students' Attitudes Toward People Living With Dementia: Protocol for a Single-Arm Pre-Post Study. *JMIR research protocols*, 13, e62654. <https://doi.org/10.2196/62654>
- Matsumoto, H., Takaoka, M., Yamamoto-Mitani, N., & Igarashi, A. (2024). Development of Four-Item Attitudes toward People Living with Dementia Scale for population surveys. *Psychogeriatrics: the official journal of the Japanese Psychogeriatric Society*, 24(5), 1120–1131. <https://doi.org/10.1111/psyg.13168>
- Inagaki-Asano, A., Honda, C., Matsumoto, H., & Yoshioka-Maeda, K. (2024). Universal Ultrasound Screening for Developmental Dysplasia of the Hip Among Infants in Community Settings in Japan: A Scoping Review. *SAGE open nursing*, 10, 23779608241272462. <https://doi.org/10.1177/23779608241272462>
- Matsumoto, H., Hagiwara, Y., Yamamoto-Mitani, N., & Igarashi, A. (2024). Applying the relational job design theory to the retail industry: The association between perceived social impact and job satisfaction, turnover intention, and persistence. *Health & Social Care in the Community*, First published. <https://doi.org/10.1155/2024/5536949>
- Suzuki, H., Igarashi, A., Matsumoto, H., Kugai, H., Takaoka, M., Sakka, M., Ito, K., Hagiwara, Y., & Yamamoto-Mitani, N. (2024). A Dementia-Friendly Educational Program Using Virtual Reality for the General Public in Japan: A Randomized Controlled Trial for DRIVE. *The Gerontologist*, 64(11), gnae113. <https://doi.org/10.1093/geront/gnae113>
- Shirouchi, M., Sumikawa, Y., Yoshioka-Maeda, K., & Yamamoto-Mitani, N. (2025). How did home care nurses support COVID-19 patients in Japan? A qualitative study. *Japan journal of nursing science: Japan Journal of Nursing Science*, 22(1), e12646. <https://doi.org/10.1111/jjns.12646>
- Matsumoto, H., Tsuda, S., & Hotta, S. (2025). Public officials' attitudes towards public participation in policymaking by people with dementia. *Dementia (London, England)*, 14713012251324263. Advance online publication. <https://doi.org/10.1177/14713012251324263>
- Igarashi, A., Takaoka, M., Matsumoto, H., & Yamamoto-Mitani, N. (2025). Relationships between elementary school children's experiences in helping older adults and their attitudes toward individuals with dementia and intention to help: A cross-sectional survey aiming to develop age-friendly education. *Geriatrics & gerontology international*, 25(4), 633–634. <https://doi.org/10.1111/ggi.70014>
- Yoshioka-Maeda, K., Matsumoto, H., Honda, C., Taira, K., Hosoya, N., Sato, M., Iwasaki-Motegi, R., Sumikawa, Y., Fujii, H., Miura, T., & Shiomi, M. (2025). Development of the Essential Individual Care Needs Assessment Tool for Public Health Nurses. *Public health nursing (Boston, Mass.)*, 10.1111/phn.13545. Advance online publication. <https://doi.org/10.1111/phn.13545>

(2) 著書/報告書

中谷, 芳美, 山口, 忍, 加澤, 佳奈, 米澤, 洋美(編著), 吉岡京子(分担執筆). (2024). 対象別公衆衛生看護活動第5版 精神保健医療福祉活動, 医学書院.

永田智子, 田口敦子(編著), 前田明里(共著).(2024). 外来で始める在宅療養支援 第2版 ニーズ把握・仕組みづくり・実践のポイント:外来で患者ニーズを見つけるためのポイント, 日本看護協会出版会.

(3) シンポジウム・セミナー等

五十嵐歩, 高岡茉奈美, 松本博成, 小澤智, 宮澤信周, 宮林佐知. (2024). 自主企画. Dementia Friendly Community の実現を目指したまちづくり. 第25回日本認知症ケア学会大会, 2024年6月. 東京

吉岡京子. (2024). 研究データ基盤の確立とその将来展望. 日本学術会議情報学委員会 第17回情報学シンポジウム. 2024年7月.

本田千可子. (2024). シンポジウム. 安心・安全に住み続けられる住まいづくり. 第29回日本在宅ケア学会学術集会. 2024年8月. 神奈川.

吉岡京子. (2024). 超高齢社会の VR 活用研究委員会オーガナイズドセッション:高齢者の生活・医療を支える VR:「家での暮らし」を支える看護学生向け VR 教材の開発. 第29回日本バーチャルリアリティ学会大会. 2024年9月.

吉岡京子. (2024). 看護職による新生児・乳児への家庭訪問での股関節超音波検査:実装上の課題. LIFE2024 オーガナイズドセッション地域看護学・公衆衛生看護学における医学・工学の連携. 2024年9月.

Yoshioka-Maeda, K. (2024). Development of a Real-World Database System to Support Best Practices in Public Health Nursing in Japan. 14th Korea University College of Nursing International Conference. 2024年11月.

吉岡京子, 松本博成, 本田千可子, 金城健, 青木清, 岡田慶太, 藤原憲太. (2024). 第13回東大看護研究シンポジウム. 発育性股関節形成不全のケアと超音波検査の可能性. 2024年11月.

山本則子, 角川由香, 野口麻衣子, 沼田華子, 前田明里, 山本なつ紀. 交流集会. 訪問看護の質を保証・向上するシステムづくり:みんなでとりくみませんか? 日本在宅看護学会第14回学術集会, 2024年11月. 千葉.

Honda, C. (2024). Advancing Child Health in the Community: Preventing Infant Injuries and Early Detection of Developmental Hip Dysplasia. The University of Tokyo-National Taiwan University Joint Conference 2024, 2024年11月. 東京.

Maeda-Suzuki, A. (2025). Lessons from My First Research Funding Experience on Interprofessional Collaboration to Achieve 'Good Death'. 15th INC & 28th EAFONS, 2025年2月. 韓国.

(4) 学会発表等

Kiyoshi Aoki, Kyoko Yoshioka-Maeda, Chikako Honda, Hiroshige Matsumoto, Takeshi Kinjo, Kenta Fujiwara. DDH screening system in Japan -the education on four risk factors and new approach using remote type ultrasound during newborn and infant home visits. The 32nd Korean-Japanese Combined Orthopedic Symposium 2024 年 6 月. 韓国.

吉岡京子, 本田千可子, 松本博成, 金城健, 青木清, 藤原憲太. 新生児訪問担う看護職を対象とした股関節エコー教育プログラムの開発(第 1 報). 第 63 回日本小児股関節研究会, 2024 年 6 月. 神奈川.

本田千可子, 吉岡京子, 松本博成, 金城健, 青木清, 藤原憲太. (2024). 新生児訪問担う看護職を対象とした股関節エコー教育プログラムの開発(第 2 報). 第 63 回日本小児股関節研究会, 2024 年 6 月. 神奈川.

Maeda-Suzuki, A., Noriko Yamamoto-Mitani, Yoshioka-Maeda, K. Ways of healing among clinical nurses in Japan. UTokyo Nursing International Conference 2024, 2024 年 7 月. 東京.

Yokobori, H., Honda, C., Matsumoto, H., Meada-Suzuki, A., Yoshioka-Maeda, K. Development of a Negative Emotions Scale for Public Health Nurses Engaged in Child Abuse Prevention Activities: A Pilot Study, UTokyo Nursing International Conference 2024, 2024 年 7 月. 東京.

吉岡京子, 松本博成, 本田千可子, 城内愛, 大木亮祐, 中川桂一, 富井直輝, 金城健, 青木清, 岡田慶太, 藤原憲太. 看護職による新生児・乳児への家庭訪問での股関節超音波検査: 実装上の課題. LIFE2024, 2024 年 9 月. 東京.

岡田慶太, 吉岡京子, 松本博成, 本田千可子, 城内愛. 地域で発育性股関節形成不全を早期発見・治療につなげる意義. LIFE2024, 2024 年 9 月. 東京.

大木亮祐, 中川桂一, 松本博成, 本田千可子, 佐久間一郎, 小林英津子, 青木清, 吉岡京子, 富井直輝. 発育性股関節形成不全スクリーニングのための超音波撮影支援における画像分割の検討. LIFE2024, 2024 年 9 月. 東京.

富井直輝, 大木亮祐, 中川桂一, 松本博成, 本田千可子, 佐久間一郎, 小林英津子, 青木清, 吉岡京子, 新たな股関節超音波検査の方向性. LIFE2024, 2024 年 9 月. 東京.

下山結衣, 江南沙里菜, 松本博成, 本田千可子, 前田明里, 山本栞里, 渡邊佐季子, 石川久美子, 田口弘之, 吉岡京子, 池田 真理. 地域で暮らすがん患者の家族が抱えるニーズの解明(第 1 報). 第 31 回日本家族看護学会学術集会, 2024 年 9 月. 神奈川.

久貝波留菜, 五十嵐歩, Dianis Wulan Sari, 高岡菜奈美, 松本博成, 呉金艶, 鈴木はるの, Rizki Fitriyasaki, Ike Ayunda Nasifah, 山本則子. インドネシアの看護学生に対する認知症教育プログラムの開発. 日本認知症ケア学会, 2024 年 6 月. 東京. Yoshioka-Maeda, K., Honda, C., Matsumoto, H., Kinjo, T., Aoki, K., & Fujiwara, K. (2024). Characteristics of failed ultrasound hip screening images taken by nurses during home visits for newborns and infants. 9th International Nurse Education Conference, 2024 年 10 月. シンガポール.

Yoshioka-Maeda, K., Honda, C., Matsumoto, H., Kinjo, T., Aoki, K., & Fujiwara, K. Characteristics of failed ultrasound hip screening images taken by nurses during home visits for newborns and infants. 9th International Nurse Education Conference, 2024 年 10 月. シンガポール.

ンガポール.

吉岡京子, 塩見美抄, 松本博成, 本田千可子, 細谷紀子, 平和也, 佐藤美樹, 茂木りほ, 角川由香, 三浦貴大, 藤井 仁. 保健師が個別支援必要度をアセスメントするための項目の開発(第1報). 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

吉岡京子. 自由集会: 新生児訪問指導と乳児家庭全戸訪問事業の現状と課題. 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

塩見美抄, 吉岡京子, 藤井仁, 細谷紀子, 松本博成, 本田千可子, 平和也, 角川由香, 佐藤美樹, 茂木りほ, 三浦貴大. 保健師が特別支援必要度をアセスメントするための項目の開発(第2報). 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

辰亥佳奈, 本田千可子, 松本博成, 前田明里, 山名隼人, 康永秀生, 吉岡京子. 発育性股関節形成不全の診断と治療の実態: レセプトデータを用いた記述的研究. 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

宮井雪乃, 城内愛, 横堀花佳, 辰亥佳奈, 本田千可子, 松本博成, 前田明里, 吉岡京子. 日本における新生児訪問と乳児家庭全戸訪問事業の評価: スコーピングレビュー. 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

細谷紀子, 吉岡京子, 塩見美抄, 松本博成, 本田千可子, 佐藤美樹, 茂木りほ, 平和也, 角川由香, 三浦貴大, 藤井 仁. データに基づく人材育成・マネジメントを推進するための活用ガイド骨子の検討. 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月. 北海道.

吉岡京子, 本田千可子, 松本博成, 青木清, 藤原憲太. 看護職による新生児・乳児家庭訪問での股関節エコースクリーニングの実施(第1報). 第51回日本股関節学会学術集会, 2024年10月, 岡山.

松本博成, 吉岡京子, 本田千可子, 青木清, 藤原憲太. 看護職による新生児・乳児家庭訪問での股関節エコースクリーニングの実施(第2報). 第51回日本股関節学会学術集会, 2024年10月, 岡山.

沼田華子, 五十嵐歩, 角川由香, 高岡茉奈美, 前田明里, 二宮彩子, 高橋幸裕, 渡邊祐紀, 山本則子. 在宅・施設版介護職向け看取りケアイーラーニングプログラムの有効性の検討. 日本在宅看護学会 第14回学術集会交流集会, 2024年11月. 千葉.

吉岡京子, 松本博成, 本田千可子, 塩見美抄, 細谷紀子, 平和也, 佐藤美樹, 茂木りほ, 角川由香. 統括保健師による人材育成とマネジメントに資する ICT 試作版ツールの開発(第1報). 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月. 熊本.

前田明里, 五十嵐歩, 角川由香, 沼田華子, 高岡茉奈美, 稲垣安沙, 山田享介, 江南 沙里菜, 二宮彩子, 渡邊祐紀, 山本則子. 介護職・看護職向け在宅・施設版看取りケア学習プログラムの開発と評価. 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月. 熊本.

塩見美抄, 吉岡京子, 細谷紀子, 松本博成, 本田千可子, 平和也, 角川由香, 佐藤美樹, 茂木りほ. ICTによる保健師の地区活動・事業化の必要性判定と保健師活動自己評価との関連. 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月. 熊本.

横堀花佳, 本田千可子, 松本博成, 前田明里, 吉岡京子. 児童虐待予防活動における保健師の援助関係構築実践尺度の開発: パイロット調査. 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2025年1月. 愛知.

Yoshioka-Maeda, K., Matsumoto, H., Honda, C., Taira, K., Hosoya, N., Sato, M., Iwasaki-Motegi,

R., Sumikawa Y., Miura, T., Fujii, H., Shiomi, M. Association between public health nurses' assessments and individual-care refusal in communities, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Maeda-Suzuki, A., Yamamoto-Mitani N., Yoshioka-Maeda, K. Developing a Home Care Nurses' Interprofessional Collaboration Practice Scale to Achieve 'Good Death' , 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Shirouchi, M., Honda, C., Matsumoto, H., Shiomi, M., Hosoya, N., Yoshioka-Maeda, K. Challenges in Acquiring Ultrasound Hip Screening Techniques for Nurses Conducting Home Visits for Newborns and Infants: An Observational Study Based on Video and Images, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Honda, C., Matsumoto, H., Koyama, N., Sakai, J., Arai, H., Doi, S., Yoshioka-Maeda, K. Do knowledge, intentions, and attitudes toward infant injury prevention differ between primiparous and multiparous pregnant women? , 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Matsumoto, H., Takaoka, M., Igarashi, A. Online education program to reduce the stigma of dementia: Comparing the effectiveness of different content, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Yokobori, H., Honda, C., Matsumoto, H., Maeda-Suzuki, A., Yoshioka-Maeda, K. Development and validation of a Negative Emotions Scale for Public Health Nurses Engaged in Child Abuse Prevention Activities: A Pilot Study, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Shiomi, M., Yoshioka-Maeda, K., Taira, K., Hotta, A., Hosokawa, R., Furihata, R. The Factors to Self-Assess Daily Condition for Community-dwelling Individuals with Schizophrenia: a Qualitative Study, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Enami, S., Shimoyama, Y., Matsumoto, H., Honda, C., Maeda-Suzuki, A., Ikeda, M., Yoshioka-Maeda, K. Identifying the challenges and quality of life of community-dwelling individuals with female-specific cancer: A secondary analysis, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

Kugai, H., Sari, D. W., Takaoka, M., Matsumoto, H., Wu, J., Suzuki, H., Fitriyari, R., Sudarsiwi, N. P., Yamamoto-Mitani, N., Igarashi, A. Development of an Indonesian Version of Scales to Assess Attitudes Toward Individuals with Dementia, Knowledge of Dementia, and Helping Behavior Among Healthcare Students: an International Collaborative Research, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2025 年 2 月. 韓国.

(5) 講演等

Yoshioka-Maeda, K. Public health nursing in Japan and the universal visit for early childhood health. Invited seminar, Seoul National University. 2024年6月.

吉岡京子. 国立保健医療科学院.非常勤講師.「公衆衛生看護研修(中堅期)». 2024年6月.

吉岡京子. 公益社団法人沖縄県看護協会 令和6年度 保健師職能企画・運営研修. 講師.保健師のキャリア形成実践編「事業化」「施策化」の過程と実践におけるポイント. 2024年8月.

吉岡京子. 公益社団法人岩手県看護協会. 講師. 日常業務での気づきを「事業化」「施策化」するためのポイント—象徴的な個別事例に着目したアセスメント—. 2024年8月.

吉岡京子. 北海道保健師関係団体連絡会研修会. 講師.「今後保健師に求められること ～事業化・施策化の展開を考える～». 2024年9月.

吉岡京子. 公益社団法人北海道看護協会. 講師.「複雑かつ多重課題事例を紐解く～事例検討会を通して自分の力量を振り返る～研修会». 2024年9月.

吉岡京子. 令和6年度文京区保健師等研修会. 講師. 保健師活動におけるリフレクションと成長. 2024年12月.

吉岡京子. 令和6年度豊島区赤ちゃん訪問指導員研修会. 講師.「新生児・乳児の股関節アセスメントについて学ぼう! ». 2025年2月.

3 研究活動

(1) 地域看護・公衆衛生看護学教室勉強会

日程(毎週火曜日)

前期 2024年4月2日～7月9日 後期 2024年9月3日～2025年1月28日

教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッション

参加者:

<地域看護学・公衆衛生看護学教室>

吉岡, 本田, 松本, 前田, 城内, 横堀, 辰亥, 宮井, 高橋薫 高橋知里

日程	発表者 (敬称略)	発表内容	タイトル
4月2日	吉岡京子	オリエンテーション	令和6年度教室研究会への参加について一文献検索・批判的吟味/クリティーク
4月9日	横堀花佳	ジャーナル・クリティーク	Mother and Home Visitor Emotional Well-Being and Alignment on Goals for Home Visiting as Factors for Program Engagement
4月9日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文について
4月16日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について「乳児の安全かつ健全な発達を促す就寝環境の解明」
4月16日	辰亥佳奈	修士論文進捗	発育性股関節形成不全の診断と治療の実態:レセプトデータを用いた後ろ向きコホート研究
4月23日	高橋知里	修士論文進捗	自己紹介と興味のあるテーマに関して
4月23日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Low Adaptation to Management Philosophy and Refraining From Seeking Medical Care in Japanese Employees
4月30日	横堀花佳	博士論文進捗	The association between negative emotions and the building helping relationships in public health nurses toward parents at risk of child abuse and moderating factors: a cross-sectional study
4月30日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Infant care practices and parent uptake of safe sleep messages: a cross-sectional survey in Queensland, Australia
5月7日	高橋薫	修士論文進捗	修論について
5月7日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	General Ultrasound Screening Reduces the Rate of First Operative Procedures for

			Developmental Dysplasia of the Hip: A Case-Control Study
5月7日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
5月21日	横堀花佳	博士論文進捗	The association between negative emotions and the building of helping relationships in public health nurses toward parents at risk of child abuse and moderating factors: a cross-sectional study
5月21日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について+新生児・乳児家庭訪問レビューについて
5月21日	辰亥佳奈	修士論文進捗	発育性股関節形成不全の診断と治療の実態: レセプトデータを用いた記述的研究
5月28日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	An exploratory survey of public health nurse's knowledge, skills, attitudes, and application of the Quad Council Competencies
5月28日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
6月4日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Knowledge, attitude, and practice toward weight management among diabetic patients in Qidong City, Jiangsu Province
6月4日	横堀花佳	博士論文進捗	The association between negative emotions and the building of helping relationships in public health nurses toward parents at risk of child abuse and moderating factors: a cross-sectional study
6月18日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Developmental hip dysplasia and hip ultrasound frequency in a large American payer database
6月18日	高橋薫	修士論文進捗	修論について
6月25日	高橋知里	ジャーナル・クリティーク	A community-based intervention to modify preventive behaviors of cutaneous leishmaniasis in children: a randomized controlled trial based on PRECEDE PROCEED model
6月25日	横堀花佳	博士論文進捗	The association between negative emotions and the building of helping relationships in public health nurses toward parents at risk of child abuse and moderating factors: a cross-sectional study

6月25日	城内愛	研究相談	Post-doctoral research plan Infection Control in home visit for newborns
6月25日	吉岡京子	海外出張報告	ソウル国立大学訪問
7月2日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について
7月2日	辰亥佳奈	修士論文進捗	研究相談
7月9日	高橋薫	修士論文進捗	修論について
7月9日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
9月3日	辰亥佳奈	修士論文進捗	研究相談
9月3日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について
9月10日	横堀花佳	博士論文進捗	Progress on doctoral dissertation 保健師の児童虐待リスクのある 保護者に対する陰性感情と援助 関係構築の関連、および緩衝要 因の検討:横断研究
9月10日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
9月17日	辰亥佳奈	ジャーナル・ クリティーク	Diagnosis and treatment of developmental dysplasia of the hip: A current practice of paediatric orthopaedic surgeons.
9月17日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文について
9月24日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について
9月24日	高橋知里	ジャーナル・ クリティーク	Automated postural asymmetry assessment in infants neurodevelopmental evaluation using novel video-based features
10月1日	辰亥佳奈	修士論文進捗	発育性股関節形成不全の診断 と治療の実態:レセプトデータを 用いた記述的研究
10月1日	横堀花佳	博士論文進捗	保健師の児童虐待リスクのある 保護者に対する陰性感情と援助 関係構築の関連、および緩衝要 因の検討:横断研究
10月8日	宮井雪乃	ジャーナル・ クリティーク	Public Attitudes About the Use of Gene Therapy in Mainland China
10月8日	城内愛	研究相談	研究テーマに関するご相談
10月15日	辰亥佳奈	ジャーナル・ クリティーク	What is the incidence of late detection of developmental dysplasia of the hip in England?: a 26-year national study of children diagnosed after the age of one
10月15日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて

10月22日	宮井雪乃	研究相談	日本における新生児訪問と乳児家庭全戸訪問事業の評価:スコアリングレビュー
10月22日	高橋知里	ジャーナル・クリティーク	Comparative Analysis of Selected Methods of Identifying the Newborn's Skeletal Model
11月5日	高橋薫	修士論文進捗	保健師の個別支援活動における能力実態:保健師活動記録ICTデータを用いた記述的研究
11月5日	辰亥佳奈	修士論文進捗	研究相談
11月12日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
11月12日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文について
11月19日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Public health nurses' workforce factors and population health outcomes in the United States
11月19日	横堀花佳	博士論文進捗	保健師の児童虐待リスクのある保護者に対する陰性感情と援助関係構築の関連、および緩衝要因の検討:横断研究
11月19日	山本なつ紀	最近のご研究について	訪問看護 安全
12月3日	辰亥佳奈	修士論文進捗	研究相談
12月3日	横堀花佳	博士論文進捗	保健師の児童虐待リスクのある保護者に対する陰性感情と援助関係構築の関連、および緩衝要因の検討:横断研究
12月3日	土屋瑠美子	最近のご研究について	高齢者の住環境に関する研究
12月10日	横堀花佳	博士論文進捗	保健師の児童虐待リスクのある保護者に対する陰性感情と援助関係構築の関連、および緩衝要因の検討:横断研究
12月10日	高橋薫	修士論文進捗	行政保健師の個別支援活動におけるキャリアラダー別アセスメント能力:記述的研究
12月24日	横堀花佳	修士論文進捗	Timing of Diagnosis and Treatment of Developmental Dysplasia of the Hip in Japan: Descriptive Study using JMDC Claims Database
12月24日	高橋薫	修士論文進捗	行政保健師の個別支援活動におけるキャリアラダー別アセスメント能力:記述的研究
12月24日	宮井雪乃	修士論文進捗	Parental knowledge and practices regarding the prevention of developmental dysplasia of the hip in infants and its associated factors: a cross-sectional study

1月7日	辰亥佳奈	修士論文進捗	日本における発育性股関節形成不全の診断と治療の時期：JMDC データベースを用いた記述研究
1月7日	高橋薫	修士論文進捗	行政保健師の個別支援活動におけるキャリアラダー別アセスメント能力：記述的研究
1月7日	宮井雪乃	修士論文進捗	発育性股関節形成不全の予防に関する乳児の親の知識と実践およびその関連要因：横断研究
1月14日	城内愛	EAFONS 予演	Challenges in Acquiring Ultrasound Hip Screening Skills for Nurses Conducting Home Visits for Newborns and Infants: Descriptive Study
1月14日	高橋薫	博士論文進捗	行政保健師の個別支援活動におけるキャリアラダー別アセスメント能力：記述的研究
1月14日	高橋知里	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
1月21日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Detecting and preventing child maltreatment in primary care and PHN's role – a cross-sectional study
1月21日	小林小百合	最近のご研究について	認知症高齢者の健康管理についての Scoping review
1月28日	高橋知里	ジャーナル・クリティーク	Head Position Preference in the Human Newborn: A New Look
1月28日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Comparing the effect of e-learning and educational booklet on the childbirth self-efficacy: a randomized controlled clinical trial

(2) 研究会

日程	講師およびテーマ(敬称略)
5月17日	城内愛 (東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター) 令和5年度博士学位論文 「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援に携わる訪問看護師の経験に関する質的研究」
6月26日	高橋大介 (北海道大学病院整形外科 講師) 「発育性股関節形成不全(DDH)-予防法の知識普及から最新の治療まで-」
7月30日	佐藤睦子 (武蔵野大学 看護学部 地域・在宅看護領域 准教授) 「保健師の児童虐待予防における援助関係構築について」
7月31日	岡田慶太 (東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科、入退院センター 講師) 「基礎から分かる! 新生児・乳児の股関節アセスメント 股関節脱臼の見落とし・遅診断ゼロに向けて」
9月17日	野口晴子 (早稲田大学 政治経済学術院 教授) 「NDBを活用した乳幼児健康診査の医療経済学的分析について」
11月1日	天野萌、山崎未来 (2023年度修了生) 「卒業後の活動について」
11月4日	上原里程 (国立保健医療科学院 疫学・統計研究部 部長) 「母子保健事業の評価について」
2月19日	五十嵐久美子 (国立保健医療科学院 統括研究官) 「最新のグローバルヘルスの動向」

(3) 研究プロジェクト

吉岡京子(研究代表者), 富井直輝, 岡田慶太, 松本博成, 本田千可子. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽). 2024年6月 - 2027年3月. フレキシブルプローブを用いた股関節脱臼リアルタイムアセスメント方法の開発.

吉岡京子(研究代表者), 塩見美抄, 細谷紀子, 中川桂一, 富井直輝, 岡田慶太. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B). 2024年4月 - 2027年3月. 新生児訪問で股関節脱臼のエコスクリーニングを行うための教育プログラム開発と実装.

塩見美抄(研究代表者), 吉岡京子, 降籙隆二, 細川陸也, 平和也. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B). 2022年4月 - 2026年3月. 地域で暮らす統合失調症者の「調子」セルフアセスメント尺度の開発と検証.

吉岡京子(研究代表者), 本田千可子, 松本博成. 文部科学省 AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業. 2022年12月 - 2025年3月. 乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AIとコミュニティスクリーニングシステムの開発.

吉岡京子(研究代表者), 野々村琢人, 青木真理, 宮井雪乃. 西川株式会社共同研究 2024年10月 - 2025年9月. 新生児・乳児の健やかな成長に資する就寝環境の解明

本田千可子(研究代表者). 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 2021年4月 - 2025年3月. 妊娠期から始める乳児の傷害予防:SNS・地域資源ハイブリッド型プログラムの開発.

松本博成(研究代表者). 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究. 2024年4月 - 2027年3月. 認知症予防の取り組みは認知症に対するスティグマを悪化させるか？.

五十嵐歩(研究代表者), 伊藤研一郎, 荻野亮吾, 松本博成, 高岡茉奈美, 山本則子, 似内遼一. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B). 2024年4月 - 2027年3月. 学校教育を起点とした Dementia-friendly Community の共創と検証.

五十嵐歩(研究代表者), 伊藤研一郎, 山本則子, 似内遼一, 松本博成, 高岡茉奈美. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽) 2022年6月 - 2025年3月. VRが育む認知症にやさしいまちづくり:共感的理解による支援行動生起の戦略.

前田明里(研究代表者), 吉岡京子. 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 在宅医療推進のための研究. 2024年4月 - 2026年3月. Good Deathの実現に向けた訪問看護師の多職種連携能力評価尺度の開発.

前田明里(研究代表者), 吉岡京子. 公益社団法人 日本看護科学学会研究助成. 2024年4月 - 2025年3月. Good Death 実現のための訪問看護師向け多職種連携シミュレーション教育プログラムの開発.

4 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 4年前期(2単位)

担当教員：	吉岡京子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	蔭山正子	大阪大学高等共創研究院・大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻
	加藤たか子	文京区保健サービスセンター係長・保健師
	小西かおる	大阪大学大学院医学系研究科 地域ヘルスケアシステム科学研究室
	村山亜矢子	高砂熱学工業株式会社・保健師
	山本菜里	文京区保健所健康推進課・保健師
	松永篤志	東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生看護学分野
	本田千可子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	松本博成	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	前田明里	地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部5号館地域看護・公衆衛生看護学演習室 112 教室
もしくはオンライン(zoom)講義

日程： 2024年4月11日～2024年5月23日 木曜日 1,2限

講義目的および内容：

地域看護学は地域で生活している個人、家族、特定集団を対象に、健康増進、疾病の予防と回復、日常生活や社会生活への適応を図るための支援方法を探求する学問である。そのための対象論と方法論について講義する。内容としては、地域住民への保健師による健康支援について、ライフステージ別(母子・成人等)、健康課題別(難病・精神・災害等)にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。

評価： 出席状況、レポート、発表内容により評価する。3回以上欠席の場合は、単位取得できない。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
4月11日 (木)	1,2限	行政保健師の配置と役割	地域教員
4月18日 (木)	1,2限	精神保健、障がい	蔭山
4月25日 (木)	1,2限	産業保健	村山
5月2日 (木)	1,2限	難病	小西
5月9日 (木)	1,2限	災害時の保健活動・危機管理	松永
5月16日 (木)	1,2限	行政保健師の保健師活動	山本
5月23日 (木)	1,2限	母子保健	加藤

2) 在宅看護論 3年後期(2単位)

担当教員：	山本則子	成人看護学教室
	岩本大希	ウィル訪問看護ステーション江戸川
	萱間真美	国立看護大学校
	高砂裕子	南区医師会訪問看護ステーション
	永田智子	慶應義塾大学 看護医療学部
	平原優美	日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション
	角川由香	成人看護学教室
	吉岡京子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	本田千可子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	松本博成	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	前田明里	地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5号館地域看護・公衆衛生看護学演習室 112教室
もしくは医学部 3号館 1階 保健師演習室

日程： 2024年10月4日～2024年12月13日の金曜日

講義目的および内容：

在宅療養者をとりまく社会状況や保健医療福祉のしくみを理解すること。そのために、在宅療養者の生活や健康上の問題に対する個別的・家族的アプローチの方法、ケアプランの組み方、ケアの提供方法、ケアシステムなどに関する講義を行う。

参考書：

- ・杉本正子編、「在宅看護論 実践をこぼに 第6版」(2015). スーベルヒロカワ.
- ・原礼子編、「プリンシプル在宅看護学 第1版」(2015). 医歯薬出版.

成績評価：出席状況とレポート等の提出物から総合的に評価する。

スケジュール(予定)：

日程	時限	講義題目	担当
10月4日 (金)	1,2限	看護職が行う地域での予防活動	前田/松本/ 本田
10月4日 (金)	4限	退院支援	永田
10月11日 (金)	1限	在宅看護学総論	山本
10月11日 (金)	2限	地域包括ケアシステムにおける在宅看護	角川
10月11日 (金)	3,4限	訪問看護の対象者:個別事例(精神)	萱間
11月1日 (金)	1,2限	訪問看護の対象者:個別事例(終末期)	平原
11月22日 (金)	1,2限	訪問看護の対象者:個別事例(小児)	岩本
11月29日 (金)	3,4限	Inter Professional Education(IPE)	吉岡/前田
12月13日 (金)	3限	在宅看護と災害対策	前田
12月13日 (金)	4限	訪問看護管理	高砂

3) 看護学概論I—生きることを支える科学—

対象:駒場学生

日程:2024年5月2日

内容:まちづくりで暮らしを支える(吉岡)

4) 看護学概論II—社会で活躍する看護プロフェッショナル—

対象:駒場学生

日程:2024年10月17日

内容:地域で看護する、地域を看護する(松本)

5) 健康総合科学概論

対象:健康総合科学科 2年生

日程:2024年12月16日

内容:地域看護学入門(吉岡)

6) 公共健康科学統合講義I

対象:健康総合科学科 2年生

日程:2025年1月10日

内容:地域保健 1(吉岡)

(2) 学部実習

[3年生]在宅看護学実習

実習日程 :2024年10月18日、10月25日、11月8日、11月15日、12月6日

実習報告会 :2024年12月13日

実習施設 :訪問看護ステーションけせら(2名)
ウィル訪問看護ステーション江戸川(1名)
白十字訪問看護ステーション(2名)

[4年生]在宅看護学実習

実習日程 :2024年9月13日、9月24日、9月26日、9月27日、9月28日

実習報告会 :2024年9月30日

実習施設 :小石川医師会訪問看護ステーション(1名)

(3) 大学院講義

1) 支援技術論I(保健師教育科目)

担当教員：	荒木田美香子	川崎市立看護大学
	安齋由貴子	宮城大学看護学部
	池田真理	家族看護学教室
	大木幸子	杏林大学保健学部看護学科
	蔭山正子	大阪大学高等共創研究院・大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻
	齋藤朱美	東京都立深川高等学校
	吉岡京子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	本田千可子	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	松本博成	地域看護学・公衆衛生看護学教室
	前田明里	地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程： 2024 年 6 月 6 日～ 2024 年 7 月 18 日 木曜日 3,4 限 (変更日時あり)

講義目的および内容：

地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と理論について学ぶ。特に、地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と理論を習得することを目的とする。特に、様々なライフステージ(母子・成人・高齢者等)、健康課題(精神、感染症等)をもつ対象者に対する支援技術(信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談、健康教育、ケースマネジメント、グループ支援)に焦点を当てる。

参考書：

- ・麻原きよみ.「公衆衛生看護学テキスト 1 公衆衛生看護学原論 第 2 版」(2022). 医歯薬出版株式会社.
- ・佐伯和子.「公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術 第 2 版」(2022). 医歯薬出版株式会社.
- ・岡本玲子.「公衆衛生看護学テキスト 3 公衆衛生看護活動I 第 2 版」(2022). 医歯薬出版株式会社.
- ・荒木田美香子.「公衆衛生看護学テキスト 4 公衆衛生看護活動II 2024 年版」(2024 年 2 月発行予定). 医歯薬出版株式会社.
- ・藤内修二.「標準保健師講座・別巻 1 保健医療福祉行政論 第 5 版」(2021). 医学書院.
- ・宮本ふみ.「無名の語り」(2006). 医学書院.

評価： 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
6月 6日 (木)	3,4 限	保健師による施策化・システムの構築の基礎となる概念と支援技術	安齋
6月 13日 (木)	3,4 限	保健師によるグループ支援の技術	蔭山
6月 20日 (木)	3,4 限	家族を単位とした支援	池田
7月 4日 (木)	3,4 限	健康課題に応じた保健師による支援技術：感染症	大木

7月10日	(水)	3,4限	地域住民への個別支援技術:家庭訪問、面接、電話等 地域住民を対象としたスクリーニング技術	地域教員
7月11日	(木)	3,4限	学校保健	斎藤
7月18日	(木)	3,4限	集団健康教育の理論と実践	荒木田

2) 支援技術論II(保健師教育科目)

担当教員： 吉岡京子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 本田千可子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 松本博成 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 前田明里 地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程： 2024 年 6 月 17 日～2024 年 8 月 27 日(集中講義)

講義目的および内容

： 地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。特に、対人支援技術(信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談など)に焦点を当て、具体的な技術を学ぶことを目的にシミュレーション演習を行う。

参考書：

・佐伯和子 責任編集、「公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術」(2022). 医歯薬出版.
 ・藤内修二、「標準保健師講座・別巻 1 保健医療福祉行政論 第 5 版」(2021). 医学書院.

評価： 出席、発表・討議、レポートにより評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
6 月 17 日 (月)	1 限	オリエンテーション、地域住民への個別・集団支援技術	吉岡
	2-5 限	地域における育児支援(新生児-乳幼児とその親への支援技術):新生児訪問と乳児健康診査場面のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り	吉岡/本田/ 松本/前田
8 月 22 日 (木)	1 限	地域における健康危機発生時の対応について	吉岡
	2-5 限	感染症(COVID-19)に罹患した本人とその家族への支援技術・乳児股関節脱臼スクリーニングの技術:退院支援、家庭訪問、電話相談等のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り	吉岡/本田/ 松本/前田
8 月 27 日 (火)	1 限	地域における結核支援や被災時支援について	吉岡
	2-5 限	地域で暮らす結核患者や避難者への支援技術:家庭訪問、健康相談、ケースマネジメント場面のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り	吉岡/本田/ 松本/前田

3) 公衆衛生看護学I(保健師教育科目)

担当教員： 五十嵐千代 東京工科大学医療保健学部看護学科・産業保健実践研究センター

吉岡京子 地域看護学・公衆衛生看護学教室

本田千可子 地域看護学・公衆衛生看護学教室

松本博成 地域看護学・公衆衛生看護学教室

前田明里 地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程： 2024 年 4 月 9 日～2024 年 5 月 21 日 火曜日 3,4 限
(変更日時あり)

講義目的および内容：

公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

参考書：

- ・Anderson, E. T., & McFarlane, J. M. 「Community as Partner: Theory and Practice in Nursing 第 8 版」(2019). Wolters Kluwer.
- ・Stanhope, M., & Lancaster, J. 「Public Health Nursing: Population-Centered Health Care in the Community 第 8 版」(2012). Elsevier's Health Sciences Rights Department.
- ・金川克子編. 「地域看護診断 第 2 版」(2011). 東京大学出版会.
- ・麻原きよみ編. 「公衆衛生看護学原論」(2022). 医歯薬出版株式会社.

評価： 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
4 月 9 日 (火)	3,4 限	公衆衛生看護学総論	吉岡
4 月 16 日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	地域教員
4 月 23 日 (火)	3,4 限	実践的研引継ぎ・文京区打ち合わせ	地域教員
4 月 30 日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	地域教員
5 月 7 日 (火)	3,4 限	そのほかのアセスメントモデル	地域教員
5 月 14 日 (火)	3,4 限	資料の収集・データの分析	地域教員
5 月 21 日 (火)	3,4 限	産業保健概論	五十嵐

4) 公衆衛生看護学II(保健師教育科目)

担当教員： 五十嵐千代 東京工科大学医療保健学部看護学科・産業保健実践研究センター

吉岡京子 地域看護学・公衆衛生看護学教室

本田千可子 地域看護学・公衆衛生看護学教室

松本博成 地域看護学・公衆衛生看護学教室

前田明里 地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5号館地域看護学演習室

日程： 2024年6月5日～2024年7月17日 水曜日 1,2限(変則日時あり)

講義目的および内容：

公衆衛生看護学の倫理、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

参考書：

- ・Anderson, E. T., & McFarlane, J. M. 「Community as Partner: Theory and Practice in Nursing 第8版」(2019). Wolters Kluwer.
- ・アンダーソン, E. T., マクファーレン, J. M.(著), 宮口英樹 他(監訳). 「コミュニティアズパートナー 第2版」(2007). 医学書院.
- ・Stanhope, M., & Lancaster, J. 「Public Health Nursing: Population-Centered Health Care in the Community 第8版」(2012). Elsevier's Health Sciences Rights Department.
- ・金川克子編. 「地域看護診断 第2版」(2011). 東京大学出版会.

評価： 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
6月5日 (水)	1,2限	地域診断演習	吉岡
6月12日 (水)	1,2限	地域診断の方法論:情報収集	地域教員
6月19日 (木)	1,2限	地域診断の方法論:演習(地区踏査)	地域教員
6月26日 (水)	1,2限	地域診断の方法論:演習(発表①)	地域教員
7月3日 (水)	1,2限	産業保健看護活動論:個別支援の理論と実際	五十嵐
7月10日 (水)	1,2限	地域診断の方法論:演習(分析・統合)	地域教員
7月17日 (水)	1,2限	地域診断の方法論:講義・演習(発表②)	地域教員

5) 行政看護学(保健師教育科目)・行政看護学特論

担当教員： 麻原きよみ 聖路加国際大学 地域看護学
 大木幸子 杏林大学 保健学部 看護学科
 清河文乃 厚生労働省 医政局 看護課
 高橋裕子 世田谷保健所 玉川保健相談課長
 名嘉飛呂野 沖縄県北部保健所地域保健班 地域保健推進グループ
 吉岡京子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 本田千可子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 松本博成 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 前田明里 地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程： 2024 年 9 月 4 日～2024 年 10 月 16 日 水曜日 1,2 限(変則日時あり)

講義目的および内容：

健康政策や公衆衛生看護実践に関わる倫理的問題を議論する能力を養うと共に、事業化・施策化やリーダーシップに関する実践的能力を養うことを目的とする。具体的には、専門的知識を学び、批判的思考力を養うため課題やディスカッションに取り組む。

参考書：

・藤内修二、「標準保健師講座・別巻 1 保健医療福祉行政論 第 5 版」(2021). 医学書院.

評価：出席状況・課題発表・ディスカッション・レポートにより評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
9 月 4 日	(水) 1,2 限	行政看護学概論	吉岡
9 月 11 日	(水) 1,2 限	行政保健師として働くことの魅力：県保健師	名嘉
9 月 18 日	(水) 1,2 限	行政機関における健康政策：施策化、評価	吉岡
9 月 24 日	(水) 3,4 限	公衆衛生看護と公共論	大木
9 月 27 日	(水) 1,2 限	公衆衛生看護における倫理：保健師の立場から	麻原
10 月 2 日	(水) 1,2 限	看護系技官として働くことの魅力	初村
10 月 16 日	(水) 1,2 限	行政保健師として働くことの魅力	高橋

以下 4 科目全て共通：

担当教員： 吉岡京子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 本田千可子 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 松本博成 地域看護学・公衆衛生看護学教室
 前田明里 地域看護学・公衆衛生看護学教室

場所： 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程： 不定期

6) 公衆衛生看護学 III(保健師教育科目)

講義目的および内容:公衆衛生看護学の倫理、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

地域診断の活動展開演習:臨地実習と成果発表

- ・受け持ち自治体の組織構成、社会資源などを把握する。
- ・受け持ち自治体の保健師配置と活動内容を把握する。
- ・受け持ち地区の健康課題を量的に分析する。
- ・受け持ち地区の地区踏査とインタビューを質的に分析する。
- ・分析結果を統合し、健康課題を抽出する。
- ・健康課題に優先順位をつける。
- ・優先的に取り組む健康課題について具体的な対策を提示する。

事業計画立案演習:演習と成果発表

- ・地域診断の結果に基づき、事業計画を立案する。
- ・事業計画は行政計画の位置づけ、財政的影響、長期的評価方法を明確にする。

集団健康教育実習:演習と成果発表

- ・受け持ち自治体で実施する集団健康教育の事業計画立案
- ・集団健康教育の媒体・シナリオ作成

7) 公衆衛生看護学 IV(保健師教育科目)

講義目的および内容:保健医療福祉行政の基盤となる法律・制度を学習し、地域のニーズに即した政策立案・実施・評価ができる能力を養う。

具体的には、法律・制度・政策形成の過程に関する講義と、施策を立案するプロセスを学ぶための事例を用いたグループワーク等の演習を行う。

- ① 保健医療福祉行政の基盤となる法律・制度の作成経緯の実例と現状
- ② 市区町村の保健医療福祉政策の形成過程
- ③ 市区町村の保健医療福祉政策の立案演習

8) 公衆衛生看護学 V(保健師教育科目)※2024年度は履修者無しのため不開講

講義目的および内容:公衆衛生看護の科学的根拠の探索、統合、実践のための解釈の方法を疫学的観点から学び、公衆衛生看護学領域における研究結果を実践に応用することを考察する。特に、研究疑問を文献検索・結果の統合から実戦でどのように活用すればよいかを検討する。

- ① 臨床疑問の作成方法を学び、実際に作成した疑問を基に文献検索を行う。
- ② 文献検索の結果を統合する方法を学び、臨床へ応用する方法を考察する。
- ③ 講義・実習を通して得た臨床疑問を、文献検索によって検討し、講師を交えて討論を行う。
- ④ 講義・実習を通して得た研究疑問を作成する。
- ⑤ 研究疑問に対して、網羅的な文献検索を行う方法を学ぶ。
- ⑥ 適切な研究疑問となるよう、講師を交えて討論を行う。
- ⑦ 臨床での文献検討結果の活用方法について討論を行う。

9) 公衆衛生看護学 VI(保健師教育科目)

講義目的および内容:公衆衛生看護実践の科学的根拠の探索、統合、実践のための解釈の方法を学び、研究結果を実践に応用することを考察する。特に、公衆衛生看護領域で抱える課題

解決のため、適切な研究デザインを選べる疫学の知識を学び、計画立案・調査分析・考察・提言を通して、公衆衛生看護領域の科学的根拠を創出する力を養う。

- ① 公衆衛生看護領域の研究疑問を作成する。
- ② 研究疑問に対して、疫学的観点から適切な研究デザインを学ぶ。
- ③ 研究疑問に対して適切な研究デザインを検討し、講師を交えて討論を行う。
- ④ 研究計画書の書き方を学ぶ。
- ⑤ 研究計画書を作成する。
- ⑥ 研究計画書を基に、講師を交えて討論を行う。
- ⑦ 研究と公衆衛生看護分野における臨床への意義をつなげる重要性について学び、講師を交えて討論を行う。
- ⑧ 保健師が研究を行うことの意義について、講師を交えて討論を行う。

(4) 大学院実習

1) 公衆衛生看護学実習I

継続実習:公衆衛生看護学実習II終了後

実習施設:文京区保健サービスセンター

2) 公衆衛生看護学実習II

2024年11月18日(月)~12月13日(金)

実習施設:文京区保健サービスセンター・本郷支所

実習報告会:2025年3月17日

(5) 大学院演習

1) 産業保健に関する演習

演習施設:横河レンタリース相模原事業所

(6) 卒業論文

2024年度は該当なし

(7) 修士論文

辰亥 佳奈(指導教員:吉岡京子)

Timing of Diagnosis and Treatment of Developmental Dysplasia of the Hip in Japan: Descriptive Study using JMDC Claims Database(日本における発育性股関節形成不全の診断と治療の時期:JMDCデータベースを用いた記述研究).

宮井雪乃(指導教員:吉岡京子)

Parental knowledge and practices regarding the prevention of developmental dysplasia of the hip in infants and its associated factors: a cross-sectional study(発育性股関節形成不全の予防に関する乳児の親の知識と実践およびその関連要因:横断研究).

高橋薫(指導教員:吉岡京子)

行政保健師の個別支援活動におけるキャリアラダー別アセスメント能力:記述的研究(Public Health Nurses' Assessment Competencies in Individual Support Activities by Career Ladder: A Descriptive Study).

(8) 博士論文

横堀花佳(指導教員:吉岡京子)

保健師の自動虐待リスクのある保護者に対する陰性感情と援助関係構築の実践との関連および調整要因の検討:横断研究.

5 学内における活動

吉岡京子

医学系研究科・医学部研究倫理審査委員会
総合科目運営委員会委員
教育運営委員会 教職課程・学芸員等部会
教養学部非常勤講師

6 学会における活動

吉岡京子

日本看護学学会 研究・学術推進委員会委員
日本看護科学学会 評議員
第44回日本看護学会学術集会 査読委員
2024LIFE ライフサポート学会実行委員

本田千可子

日本公衆衛生看護学会 実践ガイドライン委員
日本公衆衛生学会 査読委員
日本小児保健協会 傷害予防教育委員会

松本博成

日本公衆衛生看護学会 学術実践開発委員会委員
日本公衆衛生看護学会 実践ガイドライン委員
日本公衆衛生学会 査読委員
東京都介護支援専門員研究協議会 研究委員

7 社会的活動

吉岡京子

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症等対応人材(IHEAT)
国立大学保健医療学系代表者協議会看護分科会大学院教育検討委員会
一般社団法人日本看護系大学協議会災害連携教員
全国地域情報化推進協会 ICT利活用地域イノベーション委員会委員
学校法人大正大学 客員教授
Ewha Womans University, Ewha Global Fellow

本田千可子

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症等対応人材(IHEAT)

松本博成

文京区 介護認定審査会委員

8 教室員名簿(2024年度)

准教授	吉岡京子			
非常勤講師	麻原きよみ 大木幸子 荒木田美香子 平原由美	安齋由貴子 蔭山正子 永田智子	五十嵐千代 小林小百合 萱間真美	
助教	本田千可子	松本博成	前田明里	
事務員	浅野園子	川口愛子	品川友里子	
特任研究員	城内愛(グローバルナーシングリサーチセンター)			
大学院生(博士課程)	横堀花佳			
大学院生(修士課程)	辰亥佳奈	高橋薫	宮井雪乃	高橋知里
客員研究員	小林小百合	土屋瑠見子	山本なつ紀	